

季節のことば

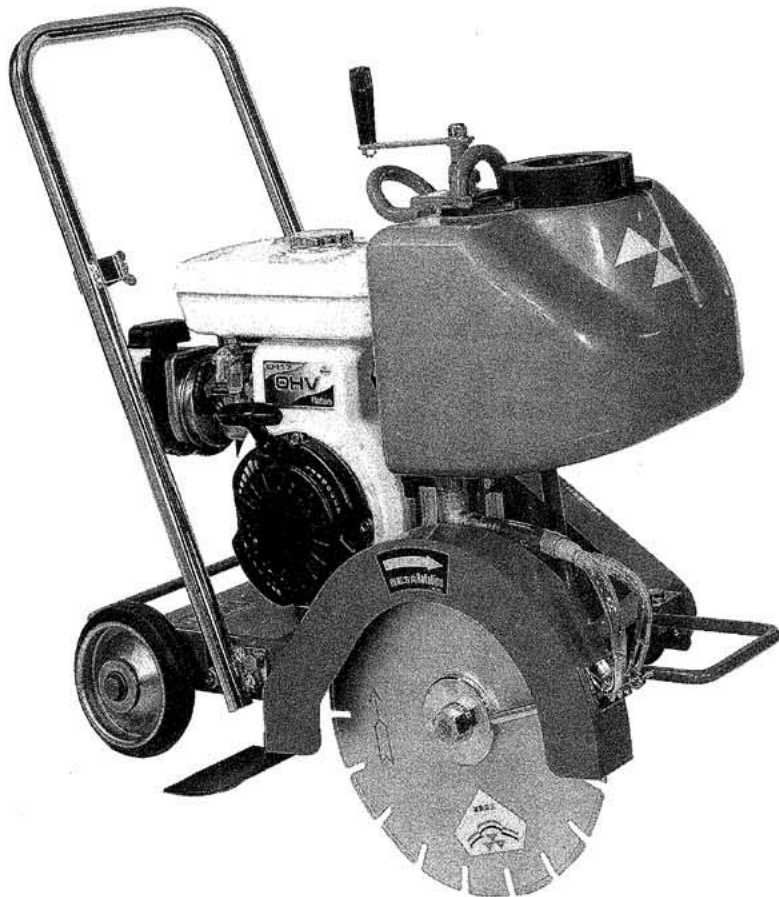
通勤途中に“とちのき通り”と呼ばれる道がある。道の両側には、トチノキの高木が空をかかえるようにして枝を拡げている。春になって白色の小花を各枝に咲かせると、あっという間に大柄な緑葉が木全体を覆う。道の両側から緑のルーフが迫り出して、やがて“とちのき通り”

は“とちのきトンネル”と化す。それは見事な光景だ。我々は、樹木や草はその場を簡単に移動することもできず不自由だ、と考えがちである。いっぽう、彼らは彼らで静かに笑いながら、我々にこう問いかけているらしい。あなたたちは自由ですか？

三笠のニュース

あなたと三笠をむすぶホット情報

PR旬報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530



使いやすさ極めたコンクリートカッター MCD-012が完成!

発売以来、永年にわたり皆様にご愛用頂いておりましたMCD-04A型コンクリートカッターの後継機として、新設計による小型コンクリートカッターMCD-012型を開発し、発売を開始いたしました。

本機の開発にあたってはユーザーの皆様様の様々なご意見を取り入れ、誰でも簡単に安心して切削作業が出来る事

を第一として設計しております。

主な特長としては、昇降装置を従来のワンタッチ式にかわり、頑丈な台形ネジを使用した手動スクリュウ式としました。さらに切り込み深さの目安になる目盛りゲージを標準装備することにより、初めて切削作業を行う方や不慣れな方でも簡単に確実にコンクリートやアスファルトの切削が行えるよう

にしました。

また、機体前後には積み降ろしに役立つ取っ手、線合わせの時ステップにもなるガードバーや、従来の使い易さそのままに曲線を基調とした斬新なデザインにかわったワンタッチ着脱式水タンクには紛失防止や手入れの簡便化を目的として、ゴム製大口径はめ込み式水タンクキャップを採用するなど、作業前の準備も簡単に行えるようにしてあります。

さらに、昇降装置のリンク類を徹底廃止することにより信頼性を向上し、定期的に必要だったリンク調整も必要なくなりました。またグリスアップ箇所を低減するなど、大幅にメンテナンス性を向上させております。

安全性についてもベルトカバーに裏蓋を設け全閉化することによって、巻き込み事故などを防いでいます。

その他、OHV型エンジンを採用し排ガスのクリーン化（新型排ガス規格に対応）、始動性の向上や騒音並びに振動の低減など数多くの改良を加え、お客様のご要望にお応えするべく生まれたシンプルで誰にでも使い易い小型カッ



東京で一番好きな町はと尋ねられたら、私は、迷わず、神田神保町と答える。…ある朝、新聞の小さなコラムの文章が目飛び込んできた。東京堂書店の本の並べ方、客入りのほどの良さ。同じように居心地が良かった富山房書店の閉店は残念だが云々。そしてこの町は歩いているだけでくつろげる。人々の歩くスピードも速すぎも遅すぎもしない。つまり神保町には独特の時間が流れているのだと。まさに同感、読むにつれわが意を得た同志と親しく対面しているような喜びを感じた。

八重洲から移転して私たち三笠の本社ビル新築は昭和38年。神保町とは目と鼻の近さだから、すでに三十五年もこの町で暮らしていることになる。踏めば床板のきしんだ三省堂書店がビルに変わり、新刊専門の大型店も出来はしたが、古書店街として地味に華やいた雰囲気は今も失われていない。「高山本店」は支店に対する本店ではなく、本屋という意味での本店だと知って目の覚める思いがした。これは司馬遼太郎さんの『神田界限』を読んで知り得た神保町の味覚である。

看板といえば岩波書店のエピソードが忘れ難い。信州人気質ではじめた頑固な古本屋が、なんとしても店の看板文字を夏目漱石に書いてもらいたく、親友安部能成を通して接近し快諾を得た。しかし漱石は自分の気に入った字が書けず約束の日が過ぎてしまった。せっかちな岩波は書斎に散乱していた書き損ないの紙を無断で懐中にいれてきて、いい字ばかり拾い選んで店の額にし、屋根には金文字で掲げたという。

岩波の出版経営を農業型とする説がある。一網大漁をねらう漁業型に対比しての経営評論だ。三笠と神田の縁は長い。今日もまたあれこれ思いながらの昼休み神保町ひとり散歩から帰ってきた。

ターとしてMCD-012型コンクリートカッターを他の製品共々ご愛用いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

型 式	MCD-012
全 長	755mm (機体水平時)
全 幅	435mm
全 高	745mm (機体水平時)
ブレード最大直径	12" (305mm)
ブレード穴径	27mm
最大切削深さ	100mm
切断深度調整方式	手動スクリュウ方式
ブレード冷却方式	重力注水飛散方式
水タンク容量	14ℓ
エンジンセット回転数	3,600r.p.m
使用ベルト寸法	A-29 (2本使用)
乾燥重量	45kg
装備重量	64kg (12" ブレード付)
エンジン型式	EH17D
エンジン方式	空冷4サイクルガソリンエンジン
総排気量	172cc
最大出力	5ps/3,600r.p.m
使用燃料	自動車用ガソリン
燃料タンク容量	3.6ℓ
使用潤滑油	自動車用エンジンオイル
潤滑油粘度	SAE#20~#30 (寒冷地#10W-30)
始動方式	リコイル式



ARAショー アメリカ好況を実感

アメリカ建設機械レンタル業界にとって最大のイベントである、今年のARA SHOWは2月16日から19日までの4日間、フロリダ州オーランド市のオレンジカントリーコンベンションセンターにて約700社のメーカー、ディーラーが出展し、開催された。ご存知の様にオーランド市にはディズニーワールド、シーワールドがあり、又、リゾート地としても名が知れ渡っており多くの観光客が訪れる所でもある。

弊社の全米代理店であるMQ社は創立25周年を迎え、今回のARAショーではこの25年を大々的にアピールする形となった。オープニング前日の日曜日は朝8時からナショナルセールスミーティングがもたれ、さながら明日から始まる戦いへの団結式の如く、チームワークの重要性を標榜し、夕方5時までほぼ1日をかけ、熱のこもった討議が行われた。このショーの為に参集した、それぞれの地方のセールスマンをはじめ、管理部門の責任者など、100名近く集結した会議はまさに圧巻そのもので、MQ社の勢いを肌で感じた1日であった。

展示会初日の月曜日は朝からあいにくの横殴りの雨模様、2日目はこれぞフロリダと言った、ピンピカの太陽が燦々と降り注ぐ絶好の展示会日和、LIGHT EQUIPMENTの範疇の中では最大の競合相手であるWACKER社とはほぼ拮抗する約560㎡の小間の中は



終始来場者で溢れ、活気のある2日間であった。

火曜日の晩はMQ社レベーン社長が主催するチャリティーイベント“コメディナイト”が催された。お取引先の方々など、合わせて約2,000名ほど集まった会場はレベーン社長の進行のもと、米国で有名なコメディアンが8時30分から約2時間半、盛り上がるの内に11時過ぎお開きとなった。毎年このARAショーに合わせ、恵まれない子供達に愛の手をという主旨で催されているこの“コメディナイト”は、その収益すべて100%が多くの救われない子供達の為に寄付され、希望の灯火として大きな励みとなっている。アメリカの人々の多くがボランティアの気持ちを大事に持っており、この様な機会に接すると自らの気持ちのなさに恥ずかしい思いがこみ上げてくる。

翌、水曜日の朝オーランドを立ちアトランタ経由、東京への帰路についた。今回のARAショーは継続するアメリカの好況を反映し、活気に溢れ、その勢いを肌で感じ取る事が出来た。わずか2日間の展示会アテンドであったが、大変有意義であった。

海外営業部 清水記

アラビアン ワールド 風変りな国 半端じゃない海の美しさ、愛国心

初めての海外出張がなんとアラブ諸国であった。

なんとというのは大変失礼な言葉であるが、なんとアルコールが飲めない国ばかりである。それに加えてタバコを吸う人も殆どいないので禁煙の場所が多い。私が最初にこの地域について思い浮かべたのは、砂漠、ラクダ、石油、そして4年前のサッカー日本代表「ドーハの悲劇」ぐらいであった。

イスラム教が支配しているここアラブ諸国は厳格な国が多い。何が厳格かというと、全てが厳格なのである。イスラム教では一日5回アッラーの神にお祈りをささげる。その間殆どの店にはシャッターを下ろし閉店してしまう。そして町には女性の姿がまず見られない。女性が外に出る時は全身黒で覆われた衣装を着て、顔も隠さなければならない。特にサウジアラビアでは、イスラムの戒律が厳しく守られており、



クウェートの代理店にて 右から2番目が筆者
例えば、女性だけでレストランなどでの食事をする事が許されていない。当然ながら法律面も厳しく、もし人の物を盗んだらその物を盗った右手もしくは左手を切り落とされるとか。もし麻薬所持が見つかったら死刑はまず逃られないといった具合である。であるからしてそういった犯罪はまず起こらない（あまりにも刑が厳しすぎる為、事件が闇に葬られるケースが少なくなるとか）。他にも多々ある戒律に基づいて人々は生活している。しかし、彼等はそんな事を厳しいとは思わない。そ

れが当たり前なのである。

そんな環境で生活しているアラブ人は皆体格が良い。酒を飲まないかわりに食事の量が半端ではないからである。何故酒を飲まないのか。何故イスラム教で禁止されているのか。理由を知る事が出来た。真夏には気温50度を越える事が度々あるこの地域は殆どが砂漠である。その昔、砂漠を移動し遊牧民として生活していたアラブ人は生き残る為に必死であった。地獄の暑さとの闘いに勝ち残った人々だけが子孫の繁栄を成功させており、酒に溺れていたらまず生き残る事が出来なかったらしい。その流れから現在に至っているようだ。

しかしここで思ったのだが、今となつてはクーラー付きの部屋で生活し食べ物も豊富に有り日本となんら変わりの無い生活をしているのであるから酒を飲んでも構わないのではないかと考えてしまう私はやはり非アラブ人なのだろうか。

観光客の訪問を受け入れていないサウジアラビアの海は言葉では表せない程美しかった。ハワイの海など比ではない。おまけに、海岸沿いには散歩コースまである。何故、こんな美しい海

を開放しないのだろうか。最近になってU.A.Eやバーレーンなどは観光開発にかなりの力を注いでいる。しかし、今後もサウジは観光客を受け入れそうにない。何故なら彼等は自国を心から愛している。誇りに思っている。だからこそ外部の人間に荒されたく無いのだ。これがサウジアラビアである。こんなに自分の国を愛している人々は他にいるだろうか。我々が日本をここまで愛せるだろうか。ある意味ここは素晴らしい国かもしれない。生まれた時から娯楽を知らない生活を送ってきた彼等は当然つまらないなんて思わない。当たり前の生活なのである。しかし、良い悪いは別にして我々日本人からするとかなり変わった国であるという印象を持つのは間違い無いであろう。世界には様々な国が存在し、様々な人々が生活している。今回はアラブの国を知る事が出来た。貴重な経験である。これから変わった国(?)を訪れて色々な経験をしていきたい。

最後に、毎日酒とタバコと女に明け暮れている皆さん、一度禁酒、禁煙、禁欲の世界に訪れてみるのはいかがでしょうか。

海外営業部二課 小沢記

『三笠』が いる風景



ヨーロッパ出張時、スペインはピレネー山脈寄りの古都サラゴサ市でたまたま見かけたMT-50型ランマーとMCD-IUBカッター。撮影・当社 田島

〔写真募集〕珍しい作業現場、絵になる『三笠』の風景を募集します。本社総務部「ニュース」係宛にお寄せ下さい。

掲載分には記念品贈呈。

初午まつり 恒例の稲荷くじも

「いまどき会社の行事で初午祭をやっているところなんて珍しいですね」毎年この時期になると、取引先の人からこんなことを言われる。会社に入りたてのころは、なんとも困惑してしまうこともあったが、今では全く違和感のない当たり前の行事として自分の内にある。それはともかく……。

平成10年2月4日、本社ビル屋上にお祀りしてある豊川稲荷社の神前にて初午祭は執り行われた。(各営業所、両工場、技術研究所においても同時刻に行われます)。

神官(神田神社)の祝詞が、寒気を震わせて肅然と響く。その中で、儀式はとどこおりなく進んだ。今年は雪こそ降らなかったが、それでも冷え込みは厳しい。ご来賓の方々(協力工場労友会代表、銀行関係)、社員は各々稲荷社に玉串を供え、商売繁栄と開運を祈った。祭祀の後は、例年通り特設会場にうつり、祝宴の幕を開いた。京谷社長から豊川稲荷社の由来が説明される。三笠が今日あるのも、ご来賓の方々のご協

力があってこそ、そして社員のたゆまぬ努力の賜物であると謝意を述べた。乾杯の後は思い思いに盃



を重ね、宴たけなわともなれば、三笠初午祭恒例の稲荷くじの福引きである。はずれがないのもうれしかぎり。幹事達の法被姿もすがすがしいものである。

さて、肝心なことを書き忘れるところだった。稲荷くじで、京谷社長が大吉を引き抜いたことである。これは大ニュースだ。というのも、社長と大吉は今回までとんと縁がなかったらしい。黄金の腕が開運を呼び寄せたのだ、と言った人がいるとかいないとか。

初午祭は立春の直後に行われる。つまり、寒く長い冬に別れを告げる決別式。そして始まりと再生の季節、春を迎える気持ちへ、自らを切り替える儀式なのだと思えます。我々三笠が誇りをもって守って行きたい行事のひとつです。

藤岡記

中野勇氏の黄綬褒章 受章祝賀盛大に挙行

三笠産業の有力代理店で、東北三笠レンタル会のリーダー的存在である山中産業(株)(本社・仙台市宮城野区扇町3-4-41)の中野社長が平成9年度秋の褒章で黄綬褒章を受章されたニ



中野勇社長

ュースは本紙の新年号にて掲載いたしましたが、その受章記念パーティーが、宮城県建設機械リース業協会の主催で“中野勇氏の黄綬褒章を祝う会”と銘打って、さる2月19日午後2時より仙台国際ホテルに於いて盛大に開催されました。

当日は全建連の会長をはじめ役員の方々、東北各県のリース業協会の正副会長、宮城県リース業協会会員など業界の錚々たるメンバーや取引先の主要メーカー、商社、銀行、報道関係者など約150名が参列し、会場は祝賀ムード一色に盛り上がりました。

宮城県リース業協会石井会長、全建連片桐会長に続いてメーカーを代表して祝辞に立った弊社京谷社長は中野社



お祝いを述べる京谷社長

長との永年のお付き合いから、氏の誠実な人柄、堅実な経営方針と実績、業界屈指のサービス体制など感じたままで披露し万雷の拍手を浴びました。

ユアサ商事(株)の中西専務の大競争時代の現況。同郷同級生の小池仙台市議の少年時代の思い出話などの祝辞の後に挨拶に立った中野社長は「この受章は私個人が戴いたものではなく、業界の方々皆さんに賜ったものと思いますので、これからも業界発展のため皆さんと協力し合って努力して参りたい」とお礼の言葉を述べられ、拍手はピークに達しました。

パーティーに入り桂子夫人共々会場で一人一人に丁寧にお礼の言葉を述べられ、巡回される中野社長を中心に会場にはあちこちに談笑の花が咲き時がたつのを忘れる様なムードの中で進行し、午後4時に閉会となりました。

佐潟記



野鳥のさえずりが心地良い。その姿に親しめばもっと楽しい。バードウォッチングは限りない魅惑の世界である。それまでまったくの無関心だったが、ひょんなことでズブズのめりこんだ人がいる。

本社海外営業部・加瀬美津雄さん。「私の出張中、女房は仕方なく犬の散歩をさせていて、ついぞ見たこともない野鳥を見た。何という名前かしら…?」これが加瀬家の探鳥のはじまりで、まさに婦唱夫随。

「腹の底ではバカにしながら女房に付き合っているうちにハマッてしまひまして…」日本野鳥の会、龍ヶ崎バードウォッチングクラブ会員。今やもう百種類以上の野鳥識別が可能になっている。四季の感受性を豊かにしてくれるし、会費は殆どタダ同然で…と喜んでいたら、次第にもっ



と高倍率の双眼鏡や超望遠レンズが欲しくてたまらなくなり、思いがけない大出費もやらかした。

写真はトラフズク。撮影はもちろん御本人。クラブ会報に採用掲載された傑作だ。フクロウの仲間だから昼間熟睡中を発見し、夢中で幾枚もシャッターを切ったその一枚が偶然にも可愛い瞳を開いて写っていたという。大学でワンダーフォーゲル部に所属しながら当時は野鳥に無関心だったことを惜しみ悔やむ加瀬さん。今は自宅テラスに野鳥寄せの工夫もするほどの熱中ぶりである。

春の史談散策



大河ドラマ徳川慶喜。「楽しみで見ている。なかなか面白いよ」という人もあれば「あれは娯楽時代劇と激動歴史ドラマの混合。両天秤かけているのが気に入らん…」辰五郎女房のナレーションが下手糞でねえ…」

何と言われようとも大河ドラマ。年末まで存続するわけだから話題のタネにされて当然です。前号では新春散策として神田一橋の徳川慶喜屋敷跡を訪ねました。今回は春らんまんの皇居周辺とか上野公園などに思いを寄せつつ「春の史談散策」です。

江戸城明け渡しは慶応四年(明治元年)の春四月十一日。無血開城に務めた勝海舟はその日の様子をこう語っています。

「あの時には俺と西郷との談判で決めた双方五人ずつの委員で城受け渡しの式をした。俺は委員に加わらなかったが志摩守大久保一翁から詳しく様子を聞いたのだ。江戸市中が殺気だって双方とも極度に緊張しており、官軍の委員の一人は狼狽のあまり草履を片足に引っ掛けたまま玄関に登ったほどだ。この中で西郷だけはケロッとして実に貫禄があった。城受けの色々な儀式が始まると、西郷は睡魔には勝てずコリコリ居眠ってしまった。……西郷さん、式は終わり申したぞと揺り起こされ、寝ぼけ顔を撫でながらまた悠然

と帰っていったそうじゃ」

同じ日、徳川慶喜は上野を出て水戸へ出発しています。四月十五日、水戸に到着した慶喜は少年のころ学んだ弘道館の奥にある至善堂を謹慎の部屋にして引き籠もりました。花は咲き緑が萌えて鳥歌う季節なのに、水戸は暗黒の春。藩主慶篤(よしあつ・慶喜の兄)の死去は伏せたまま、革新VS保守で血まみれの家臣抗争が激しくなるばかり。かつて栄光かがやき誇り高かった水戸藩も今や救いようのない劣等藩の有様です。



謹慎中であり政治向きのことには一切関与出来ない身ではあっても、城下に荒れ狂う旋風を黙ってみているわけにはいきません。慶喜は旧幕府の要人に命じて調停させ、水戸を去って静岡へ行く。わずか四か月ばかりの水戸謹慎だったが、この間に江戸(東京)では彰義隊の結成から上野戦争のドンパチが起こっております。イヤハヤなんとも物騒で混乱をきわめた春でした。

明治政府の大蔵官吏をつとめた本多晋という人物。この人は一橋の家臣で御徒目付として常に慶喜の護衛をしていたが、慶喜謹慎とともに彰義隊に参加したひとりです。その思い出を明治二十九年四月二日に行われた「旧幕史談会」の速記録で読んでみましょう。

「私は二十三才だったが、同志に集ま

って来るのは血気盛んな十代の若者が多く、私は次第に不安を感じはじめた。この決起は江戸を火の海にし、罪もない町人たちを殺したり路頭に迷わせることになる……。四月二十四日の夜半、雨をおかして密かに赤坂溜池へ行き、戦争回避のため最後の策をはかったがすでに手遅れ。ならば舞台を上野の山よりも日光山を拠点にするように主張して勝安房氏を訪ねもしたが、隊員の中には早くも過激な行動を起こす者が多くなりました……官軍の奥羽へ運搬する弾薬軍馬を襲っては略奪を繰り返

したのであります」

「五月十四日、芝新銭座の叔父を訪ねますと、明日は官軍の上野総攻撃だともっぱらの噂でした。えっ! そんなに早いのかと驚き、カゴ屋をひろって内神田まで来たところカゴ屋が言うことに、明日朝から上野に事変あるため筋違門は通れないという。私はカゴを降りて奴さんの胸倉をつかみ、俺は彰義隊の頭取ナリ、どうあろうとも本營まで帰らねばならぬ。さればカゴ賃として大枚三両お前にやろう。さあ行け、行かぬとあれば切るぞ!と恐喝しました…。筋違門には藤堂藩が詰めて厳重に固めていました。私は出まかせの嘘をついた。本郷の叔母危篤の知らせで急いでいる。明日の賊徒追討のため御門の通過ならぬことは聞いているが、

人情をもって通過をお許し願いたいと再三頼んだ。しかし最後には隊長が出てきて冷厳な一喝の声を浴びせかける始末。するとカゴ屋がそっと私の袖を引き、神田川をすこし下った所で警備の目を盗んで舟で渡りましようと言ってくれた……」

しかしカゴ屋の義侠心も結局は効果なく、夜明け近くに本多晋は芝の叔父の家に戻ります。疲れてウトウトしたところで大砲の音が聞こえ、驚いて立ちあがり、四谷西念寺へ急ぎます。ここには内應の約束をした紀州の撤兵が三百ほど屯集しているので、彼等を動かして救援部隊にしようと思いますが、紀州藩の参政斎藤政右衛門は変心しており長い議論ばかりで出兵はならない。そうこうしていると午後になって斥候の報告で彰義隊の敗北を知らされたのでした。西念寺の兵隊にこれを伝えて解散させ、自分もどこかへ身を隠そうと逃亡します。

「こうなると意気地のないもので首の心配ばかり。しばらく友人の別荘に隠れていたが探偵の動きが厳しいので上州足利郡鹿島村の親戚に身を寄せて百姓の下男になりました。……秋になり、江戸に帰って最初に聞いたのは我が公慶喜公が水戸御預も許され、駿府に移ってなお謹慎閉居を続けられる由。山岡鉄太郎氏よりの指示もあって私も駿府に移住して、ひたすら我が公の謹慎解除を祈り待ったのでした」

徳川慶喜の周辺にあった数限りないエピソードからほんの少々取り出して春の読み物とした次第。

'98新春オープニングフェア 北海道に春を告げる



去る3月18日(水)19日(木)の二日間、毎年恒例のオープニングフェアを北海道三笠レンタル会の協賛により盛大に開催しました。

二日間とも好天に恵まれ、開場を待ちかねたかのように多数のご来場を頂き、札幌近郊はもとより道内各地、遠方からもたくさんのお客様に足を運んでいただきました。

実演コーナーでは、MVH-304DSAパイプロコンパクターの新型や4サイクルエンジン搭載ランマーMT-72FWやMT-50F、分離給油式のMT-50HSランマーなどの新製品が注目を集め、皆様の関心の高さを実感いたしました。また、スタイリッシュな新型油圧ローラーMRH-600DS、700DSは特に安全性、操作性に優れ、お客様より高い評価をいただきました。

おかげさまで二日間にわたり多数のご来場を頂き、新製品を含め多数のご成約を戴きました。これも北海道三笠レンタル会の会員の皆様をはじめ各取引先のお客様のおかげと深く感謝する次第です。

札幌営業所 向成記

株式会社カナモト 京浜営業所オープン

新年早々の大雪の記憶も薄れ、神奈川県内でも春の訪れを感じ始めた3月26日、株式会社カナモト様(本社・札幌市 金本太中社長)に於かれましては全国99番目の拠点であり、神奈川県内では4番目となる株式会社カナモト京浜営業所をオープンされました。

京浜工業地帯の中心地川崎市の湾岸部に位置する京浜営業所は首都高速横羽線とそれに並行する産業道路に程近く、川崎市内はもちろんのこと、東京、横浜方面へのアクセスも良い好立地で、工場群の間を抜けて行くと途端に目に飛び込んでくる「カナモト」の文字は壮観さを感じさせます。

昨年より開設準備に当たられていた木村弘和所長をはじめ所員の皆様も意気軒昂としており、訪問させて頂く私達にも、8,000㎡の敷地と新築の事務所、工場、倉庫に圧倒されながらその雰囲気と期待感が伝わってきます。

株式会社カナモト京浜営業所様並びに木村所長、所員の皆様のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

横浜課 山根記

株式会社カナモト京浜営業所
住所 川崎市川崎区大川町1番1号
電話 044-329-4061



笠友会総会開催 安房小湊で親睦

平成10年3月27日、東京駅丸の内北口に年に1度の笠友会総会に出席するため、日頃は会社でしかお目にかかることのないメンバーが続々と集合してきた。

生憎の天候ではあったが、今回は12月に開通したばかりの東京湾アクアラインを経由して、房総小湊での総会開催とのこと。三笠の技術で海底トンネルのセグメントを作ったとは話に聞いていたが実物を見学できるということで、大いに楽しみにしていた。

メンバーも集まり、車中で昼食をとりながら、湾岸線を一路横断道入り口へと向かう。車内では横断道の話題となった。外壁セグメント部材を生産するのに三笠の大型テーブルバイブレーターが使用された。また内壁(セントル)や路床、床下のパイプスペース、仕切り板などには三笠の高周波自振モーターFJH-550型や高周波バイブレーターが多用施工された。

東京湾の真ん中にあるパーキング「海ほたる」に到着。少々風が強かったが、川崎側、木更津側と景色を眺めているうちに、東京湾の真ん中にある実感がわいてくる。そして、この偉大な構築物の工事に関わった三笠の技術の高さと、日頃なかなか知ることの出来ない社会への貢献度を実感できた。

「海ほたる」から約1時間で笠友会総会会場のニュー小湊ホテル「吉夢」に到着した。総会では、不況の時代に三笠産業を中心として笠友会のメンバーが一致協力して乗り切っていきたいとの会長挨拶があった。又三笠産業の京谷社長より、一層の協力の要請と館林工場と春日部工場が、品質の益々の安定を図る為ISO9002の取得に取りかかったとの発表があった。

懇親会では新入会員をはじめ会員の皆さんと交流を通し日頃の疲れを癒やすとともに更なる生産面での努力を誓い合った。

翌日は朝よりさわやかな晴天に恵まれた。小湊を後にして「行川アイランド」でフラミンゴのショーなどを見学、再びアクアラインで帰京、東京駅で散会となった。

忍法猿楽流 三笠丸 No.117 永井郁



「折よく三笠に新製品完成! 使いやすく、切れ味天下一品とうれしい前評判」

MCD-072 コンクリートカッター

春日部工場 長谷川記



三笠クイズ VOL.29

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、春にちなんだ言葉が浮かびます。さて何でしょう。

ア	B	C	D	4
イ				
ウ	1			5
				エ
オ		3		

ヒント

ヨコのかぎ

- ア. 晴れた日はお弁当を持って野山に出かけます。
イ. やすらかなこと。無事なこと。これであの人の地位も〇〇〇〇だ。
ウ. お屋敷の庭の池にはきれいな〇〇〇〇が泳いでいた。
エ. 酒はやっぱり熱〇〇〇〇がいい。
オ. 香辛料に使う野菜。実は細長く熟すと赤くなる。ピーマンはこれの仲間。

タテのかぎ

- A. ビアノの詩人といわれたショパンは作曲家であると同時に名〇〇〇〇〇〇でもあった。
B. 〇〇〇〇は危うきに近寄らず。
C. 炊事のこと。昔はかまどで〇〇〇〇をした。
D. 最後。この土地を〇〇〇〇の住みかとする。
E. 趣味は〇〇〇〇です。
F. この道路はUターン〇〇〇〇です。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえ応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 ④101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3
三笠産業株式会社
「三笠ニュース」編集室
●締切り 1998年5月18日(消印有効)

VOL.28の答えは「ユキダルマ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

渡辺順子様(中央区) 清水つぐみ様(余市郡) 下山三枝子様(富岡市) 東海林千佳様(東田川郡) 木村正様(西多摩郡) 井出悟様(熊本市) 沢目達也様(十和田市) 鈴木幸枝様(三浦郡) 川村左千夫様(名古屋) 小森優子様(能代市)

氏名 紺野春彦
生年月日 昭和36年1月9日
出身地 東京都
所属 品質管理部
家族 妻と2男(2才、1才)



——日頃どんな仕事をしていますか？

品質管理部に所属していますが、以前の部署で担当していたプレートコンパクターの改良を引きずって、本来品質管理部員として処理すべき仕事を上司や同僚に分担してもらっていましたが、ようやく改良業務も整理がつき、本来の品質管理及び部分設計と特殊仕様設計などの仕事に取り組めるようになりました。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

昨年8月にGMC(ゼネラルモーターズ)のサバーバンという本場のミニバンを購入しました。今後愛車であるサバーバンのドレスアップ及びチューニング(整備など)を行っていきたくと思っています。ただ、日本国内では部品単価が高いのでパソコン及び少々の英単語を勉強し、インターネットを通じて個人輸入に挑戦してみたいと思っています。

——お客様に一言どうぞ

三笠ニュースの読者の皆様、今景気の低迷している日本で現政権がどういう方向に進んでいくのだろうと困惑していることでしょうか。

この低迷している政治に興味を示し、現状を打破すべく協力し合い、難局を乗り切って行きましょう。

我ら三笠ブルー・ブルズ



——日頃どんな仕事をしていますか？

私の所属している課では、北・中南米、大洋州、アジアの一部をテリトリーとしています。私の仕事としては、各国の受注、売上、パッキングリストなどさまざまな書類の作成を行ったりしています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

インテリアです。雑誌や本を読んで、照明やカラー、机とイスの高さの関係など知っていくうちに、ほんの少しだけ見る目が変わって、ショップをみて歩いていてもついじっくり見入ってしまいます。また、CADで図面を引いたりしていると、「リビングは……キッチン……」と好き勝手に想像して作って楽しんでいます。「いつか、自分のデザインした家が建ったらいいなあ」なんて、浅はかなことを考えている今日この頃です。

——お客様に一言どうぞ

日頃、電話での対応が殆どですが、少しでも皆様の役に立つことが出来るように、これからもいろいろな知識をつけていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。